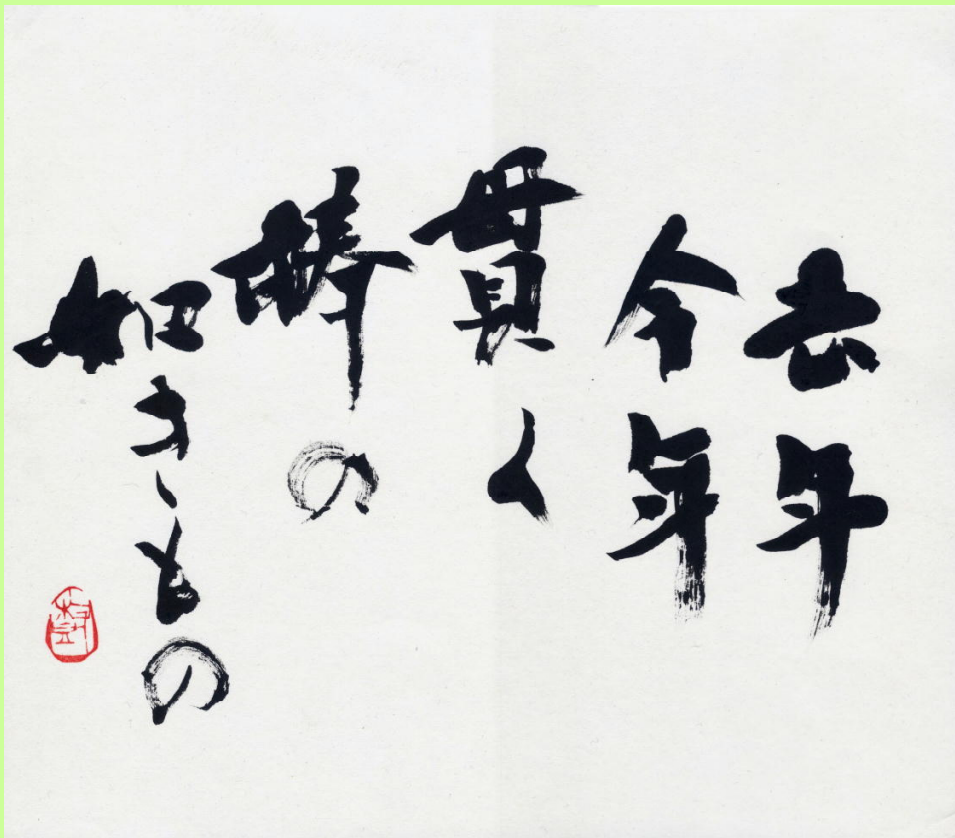


発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



去年今年貫く棒の如きもの(高浜虚子の句)

初代の心にかえり信仰の喜びを

深めよう 伝えよう 広げよう

- 一、持ち場立場で日々理作り
- 一、家族揃って教会参拝
- 一、一日一件にをいがけ

立教174年  
1月号

## 明けましておめでとうございます

立教百七十四年の新春を心晴れやかに  
お迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年是一年間、大変ご苦労さまでした。創立百二十周年記念祭に向け、三年千日と仕切つての成人

の歩み二年目は、実践項目の「家族揃って教会参拝」に特に力を入れて歩を進めてまいりました所、

「笠岡一手一つ大会」には一千三

百人を超える老若男女が寄り集い、

おつとめに寄せる家族団欒の姿を親神様、教祖、祖霊様にご覧頂き、

共々に喜び合うことが出来ましたことは誠に有難く嬉しい限りでございます。

さて本年は、いよいよ仕上げの年であります。改めて「初代の心にかえり、信仰の喜びを深めよう、

伝えよう、広げよう」のスローガ

ンに心を一つに揃えて、今まで培って一人から家族団欒へと広がって来た喜びを、周りに広げて行く「一日一件にいがけ」の実践に励み、十一月三十日の記念祭までに年頭の心定め完遂を果たすべく、勇み心を持って共々に成人の歩みを進めて下さるようお願いを申し上げます。年頭に当たつての挨拶とさせていただきます。

笠岡大教会長

上原理一

立教174年

# 各部会の抱負

及び

# 年間行事予定

この項は一月二十日、大教会年頭会議において配布された小冊子『立教174年 年頭会議各部会の抱負及び年間行事予定』の再掲です。

## 布 教 部

笠岡大教会では、創立120周年記念祭に向けて、三年千日の2年目を、

初代の心にかえり信仰の喜びを

深めよう 伝えよう 広げよう

の活動スローガンに、

一、持ち場立場で日々作り

一、家族揃って教会参拝

一、一日一件にをいがけ

の実践項目の中で、家族揃って教会参拝の實踐に、元気が出る教会を目指して皆様と心を一つに共に力一杯つとめさせて頂きましたが、本年は、いよいよ仕上げの年を迎え、教会内容の充実を目指

して、一日一件にをいがけの外に向っての実行を通して力強く歩ませて頂きたいと願っております。

全体行事として、6月25日〜26日別席ひのきしん団参加実施されます。実行委員会の動向に合わせて、活動を進めさせていただくことになると思います。どうか今年も一層日々ご存命の教祖にお喜び頂けるよう、ご安心いただけるよう一手一つに明るく勇んでつとめさせて頂きましょう。なにとぞよろしくお願いいたします。

### ◎年間行事

#### 1. 立教174年 教会長夫妻講習会

テーマ 「教会内容の充実目指して、

にをいがけ・おたすけ」

日 時 2月22日

午前 9時30分 受付

10時 開講

15時 閉講

場 所 笠岡大教会

講 師 本部布教部 ひのきしん課長

田 中 勇 一 先生

内 容 ○教会内容の充実目指して、にを

いがけ・おたすけの実動。

○パネルディスカッションによる、おたすけの実例紹介。おた

すけの一助になればと、はじめの計画。

対 象 教会長と配偶者

受講お供 1人1,000円

※身上等でやむなく欠席の場合は、届用紙を用意しておりますので、その理由を書いて、必ず大教会長様に出して下さい。

※尚22日午前、田中先生の講話を聴講希望の方は遠慮なくお越し下さい。

#### 2. 立教174年 全教一斉ひのきしんデー

期 日 4月29日

※参加者の声掛けを

(特に教会と離れた地域に住まうよふぼくに所属教会から積極的に声掛けをするようお願いします)

#### 3. 全教一斉にをいがけデー

・ 9月28日(水) 全教会長路傍講演の日

・ 9月29日(木)・30日(金)

全よふぼく実動日

・ 9月は布教強調の月です。今年も8月下旬(土・日)から9月上旬(土・日)の一週間、青年会と合同で路傍講演・神名ながし・戸別訪問・ひのきしん等、計画しております。

## 海外部

いよいよ今年は笠岡大教会創立120周年の年であります。初代が思いを持って集まって来た人達と共に教会設立を決意し、120年の時を迎えます。この年限の間に、笠岡に繋がる者の中でおやさまの教えを持って遠く海外の地へ出た者もいます。今現在、アメリカ、台湾、ブラジル、そしてタンザニアに笠岡に繋がる用木・信者が生活をしていきます。

今年、記念祭に海外から1人でも多く帰って来て頂き、共に笠岡の歩んできた道を感じたいと思います。そのためにはまずこちらから足を運ばせて頂くと思っています。出来るだけ一年の前半に、それぞれの地に寄らせて頂くと思っています。

夏には海外伝道の後継者育成として、また国際的な視野・思考を持った者の人材育成の為に英語講習会を開催します。

そして、今年も発展途上国への衣料救援活動も続けていきます。昨年末に3年目のタンザニア孤児の為に衣料が送られました。寄付金による輸送料も国際助け合いネット岡山支局に協力させて頂くことが出来たことも重ねてお礼申し上げます。皆様のお心寄せ、ご尽力を有難うございました。今年も続けて「助け合いの心寄せ」を続けて行きたいと思えます。

## 年間行事予定

- 3月 広島方面に出向き、外国人に英文パンフレットを配布するにいがけ
- 8月6・7日 英語講習会
- 12月 衣料救援物資仕分け、輸送発送

## 管理部

大教会創立百二十周年を11月に実施できるように万全の準備をさせて頂きたいと思えます。

活動実施日は、その都度発表させて頂きますので老若男女を問わず一人でも多くひのきしんに御参加下さいますようお願い致します。

## 年間行事予定

- 植木の剪定 10月頃
- 障子の張替え 10月〜11月
- 境内掃除 12月22日
- 大教会大掃除

## 婦人会

新年おめでとうございます。

昨年は婦人会創立百周年の上に、お力添え頂き誠にありがとうございます。百周年を越えて次の百年を目指し、一段成人した姿を目指し活動を

進めさせて頂きたいと思えます。

活動方針を日常に活かし『実のようぼく』を目指し、成人させて頂き、笠岡創立百二十周年の上にも底力とならせて頂きたいと思えます。本年も何卒よろしくお願い致します。

## 成人目標

ひながたをたどり

陽気ぐらしの台となりましょう

## 活動方針

元なる思召を心に、

実まことのようぼくに育ちましょう

- 一、教えを基に自らの信仰心を培う
- 一、おつとめに心を込める
- 一、身近な人からにいがけ・おたすけを

## ◎年間の主な行事

- 1月28日 創立の日
- 1月30日 笠岡支部創立百周年記念委員会長の集い
- 2月3日 委員・直轄委員長研修会
- 4月19日 天理教婦人会第93回総会  
記念行事 支部の集い
- 5月31日 委員長後継者講習会
- 6月4・5日 こかん様に続く会
- 7月27日 支部婦人会創立百周年
- 1月〜4月 別席月間



# 学生担当委員会

平成23年度

天理教学生担当委員会 活動方針

基本方針

『学生に信仰の喜びを伝え、

立派なようぶくに育つよう丹精しよう』

重点活動項目

- 一、学生生徒修養会、高校生の集い「まなびば」への参加を呼びかけよう。
- 一、全教区・直属で学生層育成者講習会を開催し、学生層育成への思いを高めよう。
- 一、日頃から「道の学生成人目標」に基づいた育成を心がけよう。

道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

大教会の年間行事について

○学生層育成者講習会

.....2月21日 大教会にて開催  
学生層をはじめとする道の後継者育成の大

切さを広く理解していただくため、月次祭の祭典講話として毎年開催させていただいております。

今年の講師は、木村信也先生(本部学生担当委員会、北大教会長)の予定です。

○春の学生おぢばがえり・直属アワー

.....3月28日 本部にて開催  
「テーマ」世界の友に、をやの思いを

く さあ！ここ、おぢばからく

毎年3月28日、お道につながる全ての学生がおぢばに帰り集い、真柱様からいただく言葉を指針として今後の成人を誓い合う「春の学生おぢばがえり」が開催されます。直属アワーでは、大教会長様のお話・親睦行事・会食などが行われ、笠岡につながる学生生徒たちが親交を深めます。参加にあたりましては、各教区が企画する団参をご利用ください。また、今年は後夜祭で模擬店(ひるぜん風焼そば)を出店する予定です。

○おぢば管内の学生の集い

.....5月8日(日) 詰所にて開催  
おぢば管内で学ぶ学生を対象に行う親睦行事です。大教会長様にもお越しいただきお話を頂戴する予定です。是非ご参加下さい。学生には案内を出しますが、こちらで把握でき

ていない学生もありますので、おぢば管内で学ぶ学生がいらっしゃればお知らせ下さい。

その他おぢばで開催される主な行事

○学生生徒修養会 高校の部・8月9日～15日

大学の部・3月3日～9日

・大学の部修了者数

545名(内、笠岡より2名参加)

・高校の部修了者数

1405名(内、笠岡より9名参加)

日頃おぢばがえりをする機会の少ない高校生が夏休みを、大学生が春休みを利用して全国各地から親里に集い、一週間の合宿生活を通してお道の信仰に目覚め、その後の歩みの上に役立つよう工夫された行事です。ほぼ全員の学生が「参加してよかった」「また来年も参加したい」と言う行事で一週間で学生が見事に変身します。

○おせち学生ひのきしん隊・1月4日～7日

新春、おぢばでの恒例行事「お節会」に際して、会場内の整理・誘導・接待・洗い方などのひのきしんや親睦行事を通して、同じお道を歩む仲間が、ひのきしんや信仰について、また普段それぞれが思うことを語り合ったりと3泊4日の貴重な合宿です。対象は高校生・大学生・短大生・大学院生・専門学校生です。申し込みは各教区の学生担当委員会へ。

教区行事(主なもの)

○春の学生おぢばがえり

○高校生の集い「まなびば」

同じ地域に住むお道につながる仲間同士が、お道の教えにふれ、少しでも教えに基づいた生き方を身につけてもらえるよう開催している行事。

○道の学生ひのきしんDAY

全国各地で、約200人以上の学生がひのきしんに励みます。昨年は9月20日に「みんなと、広げよう！感謝と喜びの輪を!!」をテーマで実施され、2602名が参加。

定期刊行物

○はっぴすと(高校生・大学生育成のための月刊誌。平成20年4月号より、大学生・専門学校生まで対象が広がりました。学生担当委員会より、学生本人の下宿先などへ直接発送して下さる個人購読も受付中です。)

天理教学生会ホームページ

.....http://www.tsa.gr.jp/

## 雅 鶯 会

○雅楽勉強会.....2月27日(日)

各教会の月次祭に雅楽を奏しよう。

**対 象** 初心者・初級者(少年会員、一般)

**内 容** 初心者は、雅楽の基礎から勉強を、また初級者は、平調の越殿楽が合奏できるよう勉強します。

**と ころ** 大教会

**講 師** 大教会雅楽奉仕者

**参 加 費** 300円

**申 込 込 み** 2月20日までに大教会に申し込み

※楽器は各自持参ですが都合がつかない人はご相談に応じます。



## ・原・稿・募・集・

**内 容**

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介  
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

**字 数**

1000字前後(800字~1200字)  
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
俳句等は1句からでも結構です。

**寄 稿 先**

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

F A X：0865-66-1314

メール：[tenkasa@yahoo.co.jp](mailto:tenkasa@yahoo.co.jp)

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



# 大教会 年末大掃除

恒例の大教会年末大掃除は、12月22日午前9時から役員・教会長・婦人会・青年会員など49人が参加して行われた。

大教会長様指示の下、お社、御簾にハタキを掛け、埃を拭き取った。上段、参拝場は天井まで届くビデを組み清掃。婦人会員(23人)は神殿外回りの窓拭き、また普段出来ない神殿高所の外窓、講堂の窓拭きは有志で行い一年間の汚れを取った。

# 大教会 庭園池掃除

管理部(岡崎和夫部長)では12月23日、大教会庭園内の池の大掃除を有志で行った。

10年ぶりのことであり、池の底に溜った泥水を取り除くことはひのきしんでは困難なため、専門業者に依頼。約半日かけてバキューム車で吸い取った。

作業の数日前から準備にかり、重機で墓地に続く参道横に泥水を流し込むための穴を掘り、当日そこにバキューム車からの水を流した。その後、消火栓で池に配石した庭石の隅々まで限なく放水、最後に水切りでセメントに付着した水垢を取り除いた。創立120周年記念祭に向けての準備の一つを終えた。



レールから外れないように  
4人掛かりで移動する



参拝場にブルーシートを広げて  
一面に器具が並べられた



3階建てのビデでに上がり  
棧の上も綺麗に掃除された

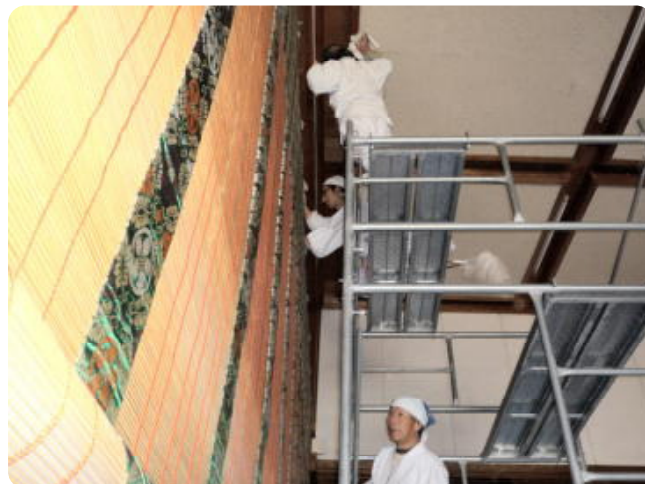


ビデの足下には  
レール替わりに足場板が敷かれた





磨き上げられた池の底に  
排水溝と消防ホースが見える



手の届く限り隅々まで  
丁寧に拭き掃除された

## タンザニアへの衣料救援

明けましておめでとうございます。15年ほど前から、岡山教区や広島教区共同でインド、カンボジア、バングラディッシュなどの発展途上国へ衣料救援を行ってきました。3年前から笠岡に繋がった用木がタンザニアに出来たことから、タンザニアに向けて(特に孤児院、小・中学校、病院へ)衣料が送られることとなりました。昨年は徳島教区青年会が更に呼びかけた事から増量し、120カートン(みかん箱約3000箱)の衣料・靴・毛布等が年末12月24日に福山港から送られました。大教会でも海外部が受け皿となって正面玄関に募金箱を置かせて貰っています。それ以外に部内の教会・信者さんから衣料や募金を寄せて下さり、今年は輸送費として8万円を輸送元となっている「天理教岡山国際救援委員会」へ寄付させて頂きました。皆様の助け合いの心寄せのお陰で昨年も続けさせて頂き、結果、タンザニアの多くの子供達・人々が喜んで下さっていることは何よりの喜びであります。有難うございました。今年も遅々たる歩みながら細々とですが「助け合いの心寄せ」を続けさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願います。皆様にとって喜び多い1年になりますように。

(大教会海外部)

## おかえり講話のご案内

日時 1月25日 午後7時  
会場 笠岡詰所  
講師 田浦道則 先生  
(湖東部属 河原田分教会長)  
養徳社発行『陽気』誌一月号、「青年よ  
大志を抱け」に寄稿しておられます。

### 第839期修養科募集要項

**\*修養科期間**

立教174年3月1日～5月27日

**\*教 養 掛**

3ヶ月間 杉原博之 (大教会准役員・明石市分教会長)  
 1ヶ月目 三島順教 (葦沼分教会長)  
 2ヶ月目 西村彦一 (瑞雲分教会長)  
 3ヶ月目 矢田哲一 (八尋分教会長)

**\*募集要項**

- ・志願者は、3月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・2月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、5月29日午前10時に解散。

**\*教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』。

**\*参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

**\*携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

**\*服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
大教会 御供	○		
「住民票」		○	

## 十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護とお導きを頂いて 日々結構に恙なくお連れ通り頂きつつ御恩報じに励ませて頂いている内にいつしか立教百七十三年の年の瀬となり 今年もあと十日余りとなってまいりました 改めて今年一年を振り返ってみますと 猛暑日記録を更新する等とにかく「暑い」の一言につきるようになります 加えて局地的な豪雨によって多くの方が被災され 災救援隊が出動した事も強く記憶に残っております そんな中笠岡では来年の創立百二十周年記念祭に向け コツコツと日々の理作りに励み子供に信仰を伝え 一日一件の声掛けに励む等 喜びの種まきに尽力してまいりましたところ 家族揃っての信仰の姿を御覧頂きたいとの笠岡一手一つ大会には 一千三百人余りが寄り集い 勇みの御守護を頂戴致しました事は誠に有難い極みでございます そんな勇みを頂いて日々成人の道精一杯に歩ませて頂いております

その中にも今日の吉日は 十二月の月次祭を執り行う日柄でございますので 月毎の御礼と共に今年一年の御礼と併せ只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝の心一杯に明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には年の瀬の慌ただしさも厭いませす 今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ 真実の限りを尽くして尚も変わらぬ親心にお継りする状を御覧下さいます 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて年が改まれば いよいよ創立百二十周年仕上げの年でございます 二年間培って来た信仰の喜びを内から外へととき放つべく 来年は一日一件にをいがけの実践項目に特に力を入れて取り組む所存でございます 加えて目指すべきは 教祖百三十年祭に向けてのおつとめ奉仕人の増員である事を再認識しつつ 今繋がっている用木信者家庭の子弟の育成にも力を注いで行く所存でございます

何卒親神様には年の瀬にあたり 今年一年の反省をし 新たな年が創立百二十周年にふさわしい年になるよう活躍を誓う皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に尚一層自由の御守護を賜りまして 心明るく晴れやかな年末年始となりますよう御守護お導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

### こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌一月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「運」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていきましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

准秀詠 東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん

運命を変えれる御教え陽気道

### ▼表紙の書

天場山分教会 役員 野津正樹さん

# 大教会だより

## II 教会指令 II

### ◎任命願・附属建物増改築願

御野 分教会

\*前任 佐藤 主計

\*新任 佐藤 哲



佐藤 哲 氏

☆奉告祭 立教174年3月13日

立教173年12月26日承認

### ◎臨時祭典願

弥高山 分教会

☆創立百周年記念祭

立教174年5月4日

立教173年12月26日承認

### ◎直属ひのきしん特別隊

自 立教174年1月11日

至 立教174年1月20日

稲 讚 高橋 竜 二

### ※お詫びと訂正

昨年12月21日発行の『かさおか 第49巻第12号』10ページ「年間行事予定表」「少年会」の列で、3月21日「育成講習会」は中止、6月21日「縦の伝道講習会」は5月21日に変更になりました。

また、15ページ「知事・日赤より表彰」の副題「住民自治功業」は「住民自治功労」の誤り、16ページ「第八三三期修養科\*修了者」の名簿中、「福岩 本多彩乃」は「本多泰子」の誤りでした。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

## 訃報

### 開地俊夫氏

神昭分教会前会長

十二月十九日出直されました。

享年 八十八才

### 谷内千代子姉

大教会おつとめ奉仕人

十二月二十八日出直されました。  
享年 九十七才



### 子供のお年玉の実権は？

正月の恒例行事？みたいにな「孫達」へのお年玉が、不甲斐のない私の財布をちぢみあがらせるのです。その昔・・・私も父に始まり姉や兄から、親戚の方に頂戴いたしました。しかし、それらは全部！一旦は母の手に渡り「学校の物やら必要などきにつかうので・・・」と、二〜三百円しか貰えんのが相場です。たようにおぼろげに覚えているのです。預けた？そのお金は何処へ行ったのか？一向に回って来ない？勿論！私の事に使って呉れていたに違い無いのだろうか・・・？

今は、法的な解釈も明快であるのです。先般、NHKの番組で取り上げていました。「子供に所有権があ

り、貰った子供が自由に使うことが出来る」と弁護士が説明していました。

世のお母様方に告ぐ！最近はお年玉の金額も万単位だから、管理してあげないと無駄使いや紛失又は盗難の心配がある・・・と言うけれども、貴方達に渡った時には「盗難」に会ったようなもの・・・としか言えないのです。

ラッキーと等と、自分の物に変わってしまったら、家計に臨時収入！なんて・・・ダメですよ。

案の定！次の日、今度高校入試の○○さんからメールが入り、初めて携帯を買ったのでメールアドレスと番号を登録し「何か有ったら直ぐに連絡してネ！」だって。

もう・・・すでに本人は「実権」は承知の上で、計画的に親戚詣でを廻り、最終が私の所で、私の息子達からも「キッチリ！ゲット！」して「目標達成」したようです。一段と可愛く末頼もしい孫に今後とも応援するジジイです。(に)